令和５年度 第１回 さいたま市バリアフリー専門部会

■日時：令和 5 年 10 月 31 日（火）午後 3 時 00 分～

■場所：浦和コミュニティセンター　9 階　第 15 集会室

■出欠：出席者 25 名（うち代理出席 4 名）、欠席者 7 名

■出席者名簿（敬称略）

	氏名	所属団体役職等	備考
1	稲垣　具志	東京都市大学　建築都市デザイン学部　都市工学科　准教授	
2	水村　容子	東洋大学　ライフデザイン学部　学部長	
3	野口　祐子	日本工業大学　建築学部　建築学科　生活環境デザインコース　教授	欠席
4	吉野　博之	社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会　事務局長	
5	臼井　常雄	障害者（児）の生活と権利を守るさいたま市民の会	
6	小藤　伸一	さいたま市老人クラブ連合会　副会長	欠席
7	関　昌美	NPO 法人　彩の子ネットワーク　代表理事	
8	竹内　政治	さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ　事務局長	
9	田中　一	ＮＰＯ法人　埼玉県障害者協議会　代表理事	欠席
10	中野　勇	NPO 法人さいたま市視覚障害者福祉協会　副理事長	
11	戸井田　秀明	一般社団法人　埼玉県建築士事務所協会　副会長	欠席
12	星野　美子	一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会　理事	
13	鈴木　亜紀子	さいたま市聴覚障害者協会　財務部付・広報部長・企画部長	欠席
14	矢口　ミヤ子	さいたま市身体障害者福祉協会　理事	欠席
15	守下　恵	NPO 法人さいたま市障害難病団体協議会　代表理事	
16	金子　賢治	公募委員	欠席
17	新井　一年	公募委員	
18	渡邉　大輔	東日本旅客鉄道株式会社　大宮支社　企画調整課長	
19	村山　知之	東武鉄道株式会社　鉄道事業本部　施設部　建築土木課長	
20	小田嶋　一樹	埼玉新都市交通株式会社　取締役技術部長	
21	関根　肇	一般社団法人埼玉県バス協会　専務理事	
22	藤田　貢	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会　事務局長	
23	齊藤　隆裕	国土交通省関東地方整備局　大宮国道事務所　交通対策課長	
24	中山　俊夫	国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局 総務企画担当　首席運輸企画専門官	
25	鷹巣　則和	埼玉県警察本部　交通部　交通規制課　管制保全補佐	代理
26	吉田　亀司	さいたま市　福祉局　生活福祉部長	
27	兼山　和夫	さいたま市　福祉局　長寿応援部長	
28	西渕　亮	さいたま市　福祉局　障害福祉部長	
29	桐生　憲一	さいたま市　建設局　土木部　道路環境課　課長補佐兼係長	代理
30	髙木　範道	さいたま市　建設局　建築部長	
31	山本　順二	さいたま市　教育委員会事務局　学校教育部　副理事	代理
32	代田　智之	さいたま市　都市局　都市計画部　次長	代理

次　　第	１．開　会 ２．議　題 （１）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について （２）まちあるき勉強会（案）について ３．その他 ４．閉　会
配布資料	○次第 ○出席者名簿・席次表 ○資料１－１　バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果 ○資料１－２　バリアフリー整備に関する利用者アンケート調査票【大宮駅周辺】 ○資料２－１　令和５年度　大宮地区まちあるき勉強会企画書（案） ○資料２－２　まちあるき勉強会　評価シート（案） ○参考資料１　令和４年度第２回さいたま市バリアフリー専門部会　議事録 ○参考資料２　さいたま市バリアフリー専門部会設置要綱 ○参考資料３　バリアフリー整備に関する利用者アンケート集計結果（速報版）
会議写真	

■議事要旨

1．開会

2．議題

（1）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について

- アンケートの対象者や対象範囲について、大宮は市外から電車やバスで訪れる方も多いため、市内の障害者団体だけでなく、県の団体にも依頼をしたらよいのではないか。
  満足度に関しては点数評価とすることで、「普通」に過度な回答の偏りが生じることを防ぐことができるのではないか。
- 当事者団体に対し回答者数を決めて依頼することについては、アンケート自体は回答しやすいと感じているため、そこまで負担にはならないのではないか。
- 肢体不自由の方の中には車に乗る方もいるため、市内団体に絞るのではなく、県の団体にアンケートの依頼をするのもよい。
- 全盲の視覚障害者の方がアンケートに回答する際は、介助者のサポートや点字の調査票を使って回答した。
- ガイドヘルパーなど介助者立場の方からも回答していただくと、違った目線から回答が得られるのではないか。
  ⇒次回に向けて検討する。

- 子育て中の方は5年前にさいたま市に住んでいない方が多く、アンケートの意図に沿って答えるのが難しいという意見があった。
  ⇒5年あれば立場や環境が変わることも多いため、無理に変化の実感を答えていただくのではなく、現状の満足度だけでも答えていただきたい。

- 精神障害者の回答がない。意見の掘り起こしを考える必要があるのではないか。
  ⇒回答数の見込みが分からず、結果として精神障害者の回答が得られなかった。事務局として、次回以降に活かしていく必要があると考えている。

- 当事者団体に所属していない方から回答をいただく方法として、無作為抽出でアンケートを行うことは難しいか。
  ⇒行政のアンケート調査を、無作為抽出で行っている調査もあるが、障害種別ごとの回答数に偏りが生じる恐れがあるため、障害種別を踏まえて抽出出来るかは確認が必要。

- 視覚障害者団体として、ロービジョンの団体にもアンケートをとると参考になるのではないか。
  ⇒次回に向けて検討する。

（2）まちあるき勉強会（案）について

- 評価シートに関して、評価が○と×で白黒はっきりし過ぎているのではないか。バリアフリーに対応していたとしても実際には使いにくいものもある。1つの項目において、○と×の両方の観点から評価できるシートにするべきではないか。
- 「東口全体のバリアフリーのまちづくり」の項目は、どのように評価すればよいのか。

  ⇒評価シートに関して事務局で再度検討し、当日ご説明をさせていただく。

- 路線バスは、乗客として運賃を支払って通常運行しているバスに乗るのか。

  ⇒バス乗車については、運賃を支払って通常の路線バスに乗車する。特別に停車して確認をするということではない。

- 団体から2名参加する際に、東西のグループに分けるのか。

  ⇒参加人数にもよるが、基本的には東西で1名ずつ分けさせていただく。

  ⇒各団体から東西1名ずつの当事者意見になるため、代表して来られる方にはご自身の立場だけでなく、障害程度の異なる他の方の視点でもご意見をいただけるよう、お願いしたい。

3．その他

- 歩道に草が生い茂っていることがあり、市に連絡をして刈り取っていただくことがある。道路の管理は大変だと思うが、バリアフリーの観点からも都心だけでなく郊外地域の歩きやすい歩道のために尽力していただきたい。

  ⇒限られた予算の中で、維持管理が十分に行き届いていないこともあると思うが、状態が悪い場合には個別具体的に対応させていただきたい。（道路環境課）

- 音響式の信号機は、視覚障害者の社会参加に大事なものになるので、地域から設置の要望を出しているところには、早期に設置をしていただきたい。

  ⇒信号機への視覚障害者用付加装置の設置については、地域要望をもとに各関係団体との協議と現地確認の上、設置可能なところから順次設置を進めている。

  最近では、以前から設置しているところに関して不具合が発生している報告も出てきているため、今後は設置だけでなく維持管理も必要になってくるが、設置の要望にも応えられるようにしていきたい。（埼玉県警察本部）

■議事内容

発言者		発言内容
	：	１．開会
司会（事務局）	：	ただいまから「令和５年度第１回さいたま市バリアフリー専門部会」を開会いたします。 本日の司会を務めさせていただきます、交通政策課の長泉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 本日は、お忙しいところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 本日の会議は、概ね１時間半程度を予定しております。円滑な議事進行にご協力の程よろしくお願いいたします。
事務局	：	・配付資料の確認
司会（事務局）	：	それではこれからの進行につきましては稲垣部会長にお願いいたします。
稲垣部会長	：	それでは、ここからの議事について進行させていただきます。 まず、委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。
事務局	：	委員の出席状況についてご報告いたします。 本日は、３２名の委員中２０名の出席でございます。したがいまして、さいたま市バリアフリー専門部会設置要綱の規定による委員の過半数に達しておりますので、本日の会議は成立しますことをご報告いたします。（会議終了時点で２１名の出席）
稲垣部会長	：	事務局の報告のとおり、本日の会議は成立いたしました。 続きまして、本日の会議の公開についてお諮りしたいと思います。本日の議事に関して、非公開事項に該当する案件があるか事務局に伺います。
事務局	：	本日の会議では、非公開事項に該当する議事はありません。
稲垣部会長	：	事務局から、本日は非公開事項に該当する議事がないとのことでしたので、本日の会議を公開で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。 ありがとうございます。異議なしと認めて、本日の会議は公開とさせて頂きたいと思います。傍聴者についていかがでしょうか。事務局は、傍聴者について報告をお願いします。
事務局	：	本日の傍聴者はございません。
稲垣部会長	：	承知しました。傍聴者はいないということでございます。 それでは、議事を進めさせていただきます。 議題（１）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について、事務局から説明をお願いします。
	：	２．議題
事務局	：	（１）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について ・資料１－１、１－２に基づき説明
稲垣部会長	：	資料についてご質問等ありますでしょうか。

発言者		発言内容
水村副部会長	：	アンケートの対象者や対象範囲の考えについてですが、大宮駅は埼玉県の中心的なターミナル駅であり、市外から電車やバスで訪れる方も多いため、さいたま市の障害者団体だけでなく、県の団体にも依頼をしたらよいのではないでしょうか。 また、さいたま市の団体に依頼する際にも、団体で答えていただく人数を決めて依頼するやり方もあるのではないでしょうか。 満足度に関しては、普通という選択肢を設けずに、「あなたの満足度は何点か」を１～５点程度の評価で回答してもらうのもよいのではないでしょうか。そうすることで普通の定義がなくなり、回答に過度な偏りが生じることを防ぐことができるのではないでしょうか。
事務局	：	次回のアンケート実施の際には、ご意見を参考にさせていただき実施したいと考えております。
稲垣部会長	：	団体で答えていただきたい人数を決めて依頼するやり方で、負担となることはあるでしょうか。
臼井委員	：	所属団体では、アンケート自体も回答しやすいと感じているため、そこまで負担にはならないと思います。 また、肢体不自由の方の中には車に乗る方もいるため、市内に絞るのではなく、県にアンケートの依頼をするのもよいと思います。
中野委員	：	大宮駅は我々の視覚障害者団体でも利用している人は多いため、回答することは可能だと思います。 アンケートでは、視覚障害者の社会参加にあたって一人で外出する場合に、音響式の信号機は非常に重要だという意見がありました。
稲垣部会長	：	音響式信号機に関する結果は、普通と回答されている方が多いですが、満足している方も、不満に感じている方もいます。これは、全盲や弱視など、視覚障害の個人特性によって回答が異なることも考えられるのではないかと思います。 中野委員にお聞きしたいのですが、全盲の方は墨字を読むことはできないと思いますが、アンケートの回答の際にどのような対応をされたのか教えていただけますでしょうか。
中野委員	：	ヘルパーさんにサポートしてもらったり、交通政策課に点字のアンケート票を作成していただきましたので、その資料で回答をしました。
稲垣部会長	：	ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。
水村副部会長	：	アンケート対象者の意見に戻りますが、ガイドヘルパー事業所など介助者立場の人にも、アンケートの対象範囲に入れることで違った目線からアンケート結果が返ってくるのではないでしょうか。
稲垣部会長	：	ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。

発言者		発言内容
関委員	：	アンケートを頂いたときにお聞きすればよかったのですが、５年前からの変化の実感について、子育て中の方だと５年前にはさいたま市に住んでいない方が多く、アンケートの意図に沿って答えるのが難しいという意見がありました。どのように考えたらよいのでしょうか。
稲垣部会長	：	今の意見を踏まえて５年前からの変化の実感について、事務局としてはいかがでしょうか。
事務局	：	おっしゃる通り、５年あれば立場や環境が変わることも多いと思います。無理に変化の実感を答えていただかなくても、現状の満足度だけでも答えていただければと思います。
竹内委員	：	アンケートの回答者の中に精神障害者の方が少ないと感じました。 回答数が少ないと、精神障害者の方が普段何に不便を感じているのかわからないので、意見の掘り起こしを考える必要があるのではないでしょうか。
稲垣部会長	：	アンケートの結果では精神障害者福祉手帳を持っている方が、０％となっていますが、このあたり事務局からコメントありますか。
事務局	：	回答数の見込みが分からない中でアンケートを実施したため、結果として精神障害者の回答数が得られませんでした。事務局として、次回以降に活かしていく必要があると考えています。
稲垣部会長	：	アンケートを無作為抽出で行うことは制度的に難しいのでしょうか。
事務局	：	行政のアンケート調査について、無作為抽出で行っている調査もあります。しかし、障害種別ごとの回答数に偏りが生じてしまう恐れがあるため、無作為抽出の中で、障害種別を踏まえて抽出出来るかは確認が必要であると思います。
稲垣部会長	：	団体に所属していない方から回答をいただく方法としては、台帳からの抽出という形になろうかと思いますので、ご検討頂ければと思います。 他にいかがでしょうか。
中野委員	：	視覚障害者団体としては、他にロービジョンの団体もありますのでアンケートをとっていただくと、参考になると思います。
稲垣部会長	：	次回調査に向けて、是非ご検討をいただければと思います。 会議終了後でも、もし何かお気づきの点がありましたら事務局までお伝えいただければと思います。
稲垣部会長	：	それでは次の議題にいかせていただきます。 議題２の「まちあるき勉強会（案）について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	：	（２）まちあるき勉強会（案）について ・資料２－１、２－２に基づき説明

発言者		発言内容
稲垣部会長	：	ありがとうございます。ご説明いただいた内容に関してですが、アンケートだけでは具体的な回答をすることが難しい部分もありますので、その補完的な役割がまちあるき勉強会にあると思います。 それでは、議事の内容に関してご意見やコメントはありますでしょうか。
中野委員	：	まちあるきの勉強会の参加締め切りはいつですか。
事務局	：	締め切りは、推薦される方も含めて１１月１０日までとさせていただきます。
水村副部会長	：	まちあるきの評価シートに関してですが、評価が○と×で白黒はっきりし過ぎているのではないでしょうか。例えば、バリアフリーに対応していたとしても実際には使いにくいこともあり、そうした場合もあることを考慮して評価の仕方を見直すことが必要なのではないでしょうか。
稲垣部会長	：	私も同意見です。例えば○×だけでは、×ばかりになってしまう可能性があるのではないでしょうか。１つの項目において、○と×の両方の観点から評価できるシートにするべきではないでしょうか。 他にはいかがでしょうか。路線バスにも乗車するということですが、乗客として運賃を支払って通常運行しているバスに乗るのでしょうか。
事務局	：	バス乗車について補足させていただきますと、特別に乗車するということではなく、通常の路線バスに乗車するイメージですので、運賃を支払って乗車します。車両を止めて確認をするということではございません。
稲垣部会長	：	ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。
中野委員	：	団体から２名参加する際に、東口と西口のグループに分けることはするのでしょうか。
事務局	：	参加人数にもよりますが、基本的には東西で１名ずつ分けさせていただこうと考えております。
稲垣部会長	：	参加される方が例えば２名であれば、東西で１名ずつの当事者になるため、代表して来られる方にはご自身の立場だけでなく、障害程度の異なる他の方の視点でもご意見をいただけるよう、お願いしたいと思います。
関委員	：	まちあるきの当日は、事務局側でベビーカーの用意をしていただくことは可能でしょうか。
事務局	：	ベビーカーの用意に関しては事務局で確認し、個別にご連絡させていただきたいと思います。
臼井委員	：	資料２－２の４ページについてですが、地区全体のバリアフリーのまちづくりに関してというのは、どのように評価すればよろしいでしょうか。
事務局	：	幅広い意味になってしまいますが、総評という形で評価していただければと思います。
稲垣部会長	：	先ほどのアンケートに付随して聞かれていると思いますが、全体的な感想を書くということでよろしいでしょうか。

発言者		発言内容
事務局	：	具体的な回答方法に関しては、事務局で再度検討させていただき、当日にまたご説明をさせていただきたいと思います。
稲垣部会長	：	もう少し回答のシミュレーションを行って、回答しやすい評価シートにしていただければと思います。具体的にどのルートで歩くのかも明確でないため、当日は混乱を招かないような資料づくりをお願いします。
	：	３．その他
稲垣部会長	：	最後に、次第の３「その他」になりますが、委員の皆様から全体を通してのご質問など、ご発言がございましたらお願いします。
中野委員	：	国道４６３号線や１２２号線の歩道に草が生い茂っていることがあり、市に連絡をして刈り取っていただいているときがあります。市内の道路の管理は大変だと思いますが、バリアフリーの観点からも、都心だけでなく郊外地域の歩きやすい歩道のために尽力していただきたいと思います。 もう一点は、音響式の信号というのは、視覚障害の方の社会参加にとても大事なものになりますので、地域から設置の要望を出させてもらっているところには、早期に設置をしていただけると助かります。
稲垣部会長	：	今の意見について道路環境課さんから何かございますか。
桐生代理	：	限られた予算の中で維持管理を行っておりますので、対応が十分に行き届いていないこともあるかと思います。しかし、状態が悪い場合には個別具体的に対応させていただきたいと思います。
稲垣部会長	：	音響式信号機については、埼玉県警察さんから何かございますか。
鷹巣代理	：	信号機への視覚障害者用付加装置の設置につきましては、地域要望をもとに各関係団体との協議と現地確認の上、設置可能なところから順次設置を進めさせていただいているところです。 最近では、以前から設置しているところに関して、不具合が発生している場所の報告も出てきているため、今後は設置だけでなく維持管理の方も必要になってくると思います。 もちろん設置の要望にも応えられるようにしていきたいと思います。
稲垣部会長	：	ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。 以上で本日の議事については終了いたしました。 委員の皆様には、会議の進行にご協力いただき、誠にありがとございました。それでは、事務局に進行をお返しいたします。
	：	４．閉会

発言者		発言内容
事務局	：	稲垣部会長、議事の進行ありがとうございました。 また、委員の皆様におかれましては、大変貴重なご意見を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。 本日いただいたご意見を踏まえ、資料等の更新作業を進めてまいります。 アンケート調査につきましても、いただいたご意見を踏まえて修正を加え、実施の依頼をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 まちあるき勉強会につきましては、本日いただいたご意見を踏まえて修正を加え、実施させていただきますので、よろしくお願いいたします。 次回の部会につきましては、来年２～３月の開催を予定しておりますが、後日日程を事務局で調整し、決まり次第、別途ご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。 それでは、以上をもちまして、令和５年度第１回さいたま市バリアフリー専門部会を閉会とさせていただきます。